Toyama nursing association

2026.10.15

看護とやま

NO. 161



写真提供：砺波市

Contents

令和9年度富山県への要望事項……2
保健師・助産師交流会……3
第36回富山県看護研究学会……3
デジタルで変わる看護現場……4～5
ともに創る県内の看護学生……6～7
看護師職能Ⅰ調査結果報告……8
認定看護管理者教育課程……9
富山県訪問看護総合支援センターからのお知らせ…10
訪問看護インターンシップ
TOYAMA
ナースセンターニュース……10～11
看護のお仕事出張相談
求人情報
とやま看護フェスタ2026
事務局から……12
私の推し活コーナー……12

公益社団法人 富山県看護協会

ホームページ

会員数

（令和８年９月30日現在）

保健師	498人
助産師	388人
看護師	7,826人
准看護師	60人
合計	8,772人

令和９年度富山県への要望事項

令和８年８月26日（水）：岡本会長から県へ提出

富山県看護協会は、県民の健康と福祉に貢献する看護職能団体としての使命を果たすため、富山県への要望書を岡本会長から滑川厚生部長及び田中経営管理部長へ提出しました。
（看護協会出席者：岡本会長、中島副会長、渋谷副会長、吉田専務理事、藤井常任理事）

Ⅰ 看護の質向上

１ 富山県における看護師資格の一本化に向けた准看護師の養成停止

看護師資格の統一は、看護の質の保証や社会的評価の向上、処遇改善等の効果が期待されることから、県内の看護師資格の一本化に向けた准看護師養成停止について、関係者による協議の場を持っていただきたい。

２ 多様化する看護ニーズに対応する看護職員資質向上への仕組みづくり

所属施設を越えた人材育成や人事交流の促進など、「施設で育てる」体制から「地域で育てる」横断的な仕組みを構築いただきたい。

３ 富山県立大学における認定看護師教育課程の開設

県立大学において、現場ニーズの高い心不全看護や緩和ケア、認知症看護の認定看護師教育課程を開設いただきたい。



岡本会長から滑川厚生部長へ提出

Ⅱ 働き方改革の推進

１ 看護職員の需給推計と確保対策の一体的推進

精度の高い需給推計となるようしっかり検討いただくとともに、深刻な供給不足が懸念される地域や分野において、需給推計と看護職員確保対策を一体的に推進いただきたい。また、スポットワークに親和性の高い診療所へ「富山マッチボックス」について周知いただきたい。

２ 子育て支援（放課後児童クラブや育児休業明けの保育園の確保）の充実

放課後児童クラブについて、①小学校新１年生の確実な利用受入れ、②夏季休業期間中の預かり時間の確保、③利用料金などの保護者負担の軽減、④学年に応じた定員枠の拡充、加えて年度途中の育児休業明けから利用可能な保育園の適正確保に努めていただきたい。



県厚生部長室での要望・意見交換

Ⅲ 看護領域の開発・展開

１ 医療的ケア児とその家族への在宅支援体制の充実

医療的ケア児とその家族が求める短期入所等の拡充と地域格差の縮小、また、医療的ケア児等コーディネーターの活用促進について市町村へ働きかけていただきたい。特に短期入所の拡充については、施設整備のための財政支援と人員確保を一体的に推進いただきたい。



岡本会長から田中経営管理部長へ提出

２ 自治体保健師と災害支援ナース合同のD24H説明会・実践型ワークショップの開催

D24H（大規模災害発生時に、関係機関や支援チーム間での情報共有・活用を目的として国が開発した統合情報管理システム）の理解を深める説明会に併せて、自治体保健師と災害支援ナースの連携を促進する実践型ワークショップ等を組み合わせて開催いただきたい。

３ 看護小規模多機能型居宅介護（「看多機」）の整備推進

看多機の整備促進に加えて、看多機を必要とする県民が市町村を越えた広域利用が可能となる事前同意の協議や調整等をお願いしたい。併せて、これらの県の支援策を第10期富山県介護保険事業支援計画に明記いただきたい。

詳しい内容は富山県看護協会ホームページ「事務局からのお知らせ」をご覧ください

保健師・助産師交流会

気がかりな妊産婦への支援

- **開催日**：令和８年８月17日㈪
- **会　場**：富山県看護協会　第１研修室
- **参加者**：保健師・助産師・看護師　63名

保健師職能委員と助産師職能委員が中心となり、「気がかりな妊産婦への支援」をテーマに交流会を行いました。目的は「特定妊婦など気がかりな妊産婦への支援を通し、各機関の役割を共有し、看護職が連携した支援について話し合い、実践できるようにする」としました。

研修前半は、市町村の保健師や訪問看護ステーション、大学病院の助産師による実践報告を行い、各々の取り組みを知り、共有することができました。後半は、10グループに分かれ「気がかりな妊産婦への支援での工夫」「病院と地域での連携の実際や必要な情報」をテーマに活発な意見交換が行われました。日常ではそれぞれ違うフィールドで活躍していますが、目指すところはみな同じ、互いに連携することの重要性を再認識しました。今回の研修は、県下の地域医療圏を意識したグループ分けを行いました。顔のみえる交流を通して、今後の支援に結びついてくれたら嬉しいと思います。





第36回 富山県看護研究学会

メインテーマ　「考える看護からはじまるケアの想像と創造　～医療DX化が進む中で～」

開催日時：令和８年11月14日㈯ 10:00～16:00

開催場所：オーバード・ホール 中ホール（富山市牛島町９-17）

【特別講演】１時間

【口演発表】19題

【示説発表】９題　合計28題

［プログラム］

【特別講演】「自己評価が高く、勉強にも仕事にも興味がない?!令和の無敵化する若者たち」

講師：金沢大学融合研究域教授、北海道医療大学客員教授、

一般社団法人 WE AT 副代表理事、日本知財学会理事・副会長　金間　大介 氏

詳細はホームページをご覧ください

デジタルで変わる看護現場

変わる看護、変わらない想い

新しい技術を取り入れても、看護の中心にあるのは「人」です。デジタルを上手に活用しながら、一人ひとりの患者さんに寄り添う看護をこれからも大切にしていきます。



介護老人保健施設みどり苑

みどり苑のDXの取り組み

看護介護部長　南　峰子







みどり苑では、限られた人員でも質の高いケアを継続できる体制づくりと、職員が働きやすい職場環境の実現を目的にDXを推進しています。介護ソフトの「ケアカルテ」はスマートフォンを活用し、現場でリアルタイムに記録を作成、他のシステムとも連動して、情報がすべて集約されるため、チーム全体での迅速な情報共有と対応が可能になりました。職員間の連絡にはインカムを使用し、ケアカルテと連携するAI音声入力アプリ「ハナスト」により、介助内容を発話するだけでAIが関連キーワードを読み取り、自動でシステムに記録されます。居室には複数の最新ICT・IoT機器を導入しています。天井のセンサーで利用者の動きをスマートフォンに通知する「HitomeQケアサポートシステム」はAI機能「ケアルーペ」による記録データ分析をケア方針の見直しにも活用しています。また、ベッドの下の「眠りSCAN」で睡眠の質やバイタルをモニタリングします。「DFree」は膀胱内の尿量を測定して排尿のタイミングを予測することで計画的なトイレ誘導を実現しました。

これらの見守りカメラやICT、AIを活用により、利用者の安全性の向上を図るとともに無駄な訪室を減らすなど、業務の効率化を推進しています。その結果、職員が利用者と向き合う時間が増加しただけでなく、蓄積されたデータを活用した「科学的根拠に基づくケア（科学的介護）」の実践にも繋がっています。

富山城南病院介護医療院

インカム導入による業務改善



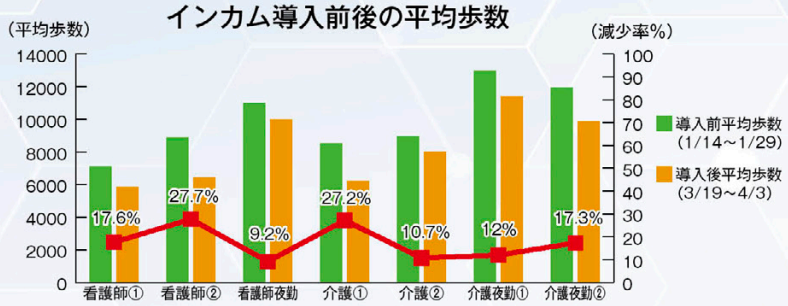
看護師長　前川　孝子

当院では日頃より「職員の負担軽減」や「介護サービスの質の向上」に向けて取り組んでいます。今回介護テクノロジー定着支援事業補助金を活用するため、生産性向上推進委員会を設置し、職場環境の整備、業務の明確化と役割分担、手順書作成などを行い、インカムを導入しました。

成果指数として、導入前後の看護、介護者の総歩数を測定し、平均歩数が減少しました。また、業務に関すること、仕事に対するモチベーションに関すること、導入しての変化について職員アンケートを行いました。その結果、インカムの導入により時間短縮が図られ、身体・精神的余裕が生まれ、複数名で行う優しいケアに繋がりました。また職員間のコミュニケーションが増え、協力しやすい雰囲気となりモチベーションアップにつながったと感じている職員が多くなりました。

今後も職員でICT等を学び現場に活かしていきたいと思います。

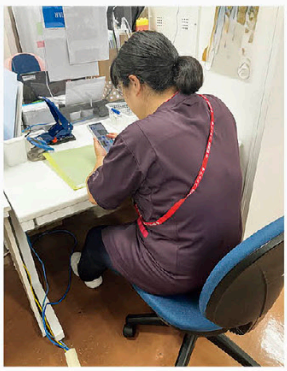




済生会高岡病院

スマートフォン変更に伴う業務効率化

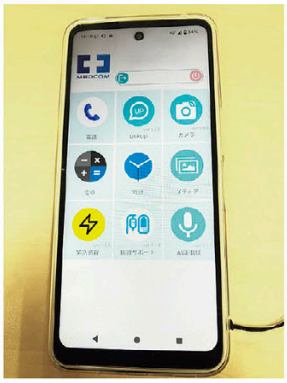
デジタルを活用した業務効率化や生産性向上が推進される中、当院でも PHS をスマートフォンに変更し、業務効率化を推進しています。以下に現在の活用状況について紹介いたします。



【病棟】

看護師長　林　佳用子

スマートフォン導入後、看護師が一番活用しているのがチャット機能です。診察中や処置中でも医師へ報告ができ、聞き間違いや伝達ミスを防ぐことができます。また、画像送信機能により、皮膚症状等を視覚的共有が可能となり、患者への早期介入や適切なケア提供につながっています。さらに、これまでは院内PHS、ナースコールPHS、タイマー等、複数を携帯していましたが、スマートフォンに機能が集約されていることから、携帯するものが減り動きやすくなりました。



【患者総合支援センター】

看護師長　下村　由美

当部署は患者情報の共有や診療方針の確認、転院可否等、医師への確認の機会が多くあります。これまで看護師は、診察・処置の合間に直接医師に指示確認や書類を手渡す等していました。スマートフォン導入後は、チャットでの指示確認や紹介状・検査データーの画像送信により、医師・看護師共に業務の中断がなくなり、患者との時間を確保できるようになりました。転院調整も迅速に進められるようになり、業務効率化と患者サービスの向上につながっています。今後、さらに有効活用することで、多職種間での情報共有や連携を強化していきたいと思います。

ともに創る県内の

富山県立大学
細川　実穂



①人の不安や苦痛に寄り添い、その人の心身を支えられる看護師の姿に憧れ、自分も誰かの力になりたいと思ったことがきっかけです。
②患者さん一人ひとりの思いや生活を大切にし、患者さんやご家族から信頼され、安心して頼ってもらえる看護師になりたいです。
③講義や実習で学んだ知識を身につけるだけでなく、患者さんとの関わりを大切にし、相手の思いをくみ取って実践に活かせるように心がけています。

富山医療福祉専門学校
惣元　駿太



①私は小さい頃から人の為になる仕事をしたいと思っていました。看護師は患者にとって最も身近な存在で、患者が元気になるために必要な存在であることに魅力を感じ、看護師を目指しました。
②患者の気持ちを大切に、どんなときも安心して過ごせるようにサポートし、信頼され、笑顔を届けられる看護師になりたいと思っています。
③授業や演習で看護の知識や技術を学ぶとともに、相手の気持ちに寄り添えるコミュニケーション力を身につけられるように努力しています。

富山市立看護専門学校
田代　芽菜



①中学生の時に初めて手術を経験し不安を抱いていましたが、看護師が傍で寄り添ってくださり、安心して治療に臨めた経験がきっかけです。
②確かな知識と技術を身に付け、観察力と傾聴力を大切にし、患者や家族の不安に寄り添い、安心感を与えられる看護師になりたいです。
③学業に励み知識や技術を磨くとともに、実習では患者の小さな変化を見逃さない観察力と、思いに耳を傾ける傾聴力を意識しています。

富山市医師会看護専門学校
釋　恵莉



①医療的ケア児の保護者の話を通して、他にも地域で支援を必要としている人に、自分でも何か役に立てることがあると考えたからです。
②患者と家族が安心を感じられる存在です。もし精神的に暗闇の中にいるなら、その人にとっての灯火のような存在になりたいです。
③相手を理解しようと努め、話を聞き、多様性を認めることです。患者と接する機会を大切にし、様々な症例について理解を深めています。

今回は、県内の看護学生を紹介します

看護学生

質問内容

①看護職を目指した理由
②どんな看護職になりたいか
③そのために頑張っていること

富山福祉短期大学
髙澤　さくら



①高校での看護体験を通して患者の声を聞く看護の魅力を実感し、もともと救急医療への強い興味があったことから看護師を志すようになりました。
②救急の現場で状況を的確に把握し、迅速に対応できる力を磨き、安全と安心を提供できる専門性と人間性の両方を備えた看護を実践したいです。
③判断力と対応力を身につけるため、自己学習として解剖生理や病態生理など看護の基礎を重点的に学び、予習・復習を欠かさず行っています。

富山県立
富山いずみ高等学校
熊本　菜々美



①母や祖母が看護師として働いており人の役に立てる仕事に魅力を感じたからです。患者さんとの関わりを経験し人を支える看護の魅力を改めて感じました。
②患者さんの疾患だけでなく一人一人の思いや生活背景を大切にし、その人らしさを支られる、信頼される看護職になりたいと考えています。
③患者さんの表情や言動の変化に目を向け相手の思いを理解できるよう意識しています。また臨地実習での学びを振り返り、自分自身の成長につなげています。

富山大学
斎藤　綺乃



①８歳離れた弟の出産時、母を傍で支えてくださった助産師の存在が心強かったと聞き、その姿に憧れ、助産師を目指すようになりました。
②正常な経過からハイリスクな経過まで、どのような妊産褥婦でも、安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう、１人１人の思いに寄り添い支えられる助産師になりたいです。
③助産学実習を通して、受け持たせていただいた方の思いや背景、文化の違いなどを理解し、その人に合った支援を考え、実践できる力を身につけられるよう努めています。

富山県高岡看護専門学校
種部　玲生



①私がお世話になった看護師の方がおり、この人の患者への関わり方を見て、私もこのような人の心を助ける仕事がしたいと思い、看護師を目指しました。
②患者及びその家族や友人が、どのような疾患にかかっても、その後の人生を笑って過ごせるような援助･関わりができる看護師、それが私の目指す看護師です。
③看護師になるための勉強はもちろんのこと、患者交流会の運営やスタッフなどにも取り組み、患者やその家族との関わり方について学ぶようにしています。

多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務分担・協働に関する調査結果報告

当委員会では、多様で柔軟な働き方と看護補助者との業務分担・協働に関する取り組みについて情報収集を行うことで、取り組みの共有や課題について検討することを目的に調査を実施しました。

調査方法

- 対象：富山県看護協会会員施設のうち調査回答可能な70病院の看護部長や看護部代表者
- 方法：WEBによるアンケート調査
- 期間：令和7年10月27日～11月21日

回答状況

対象70施設のうち44施設から回答

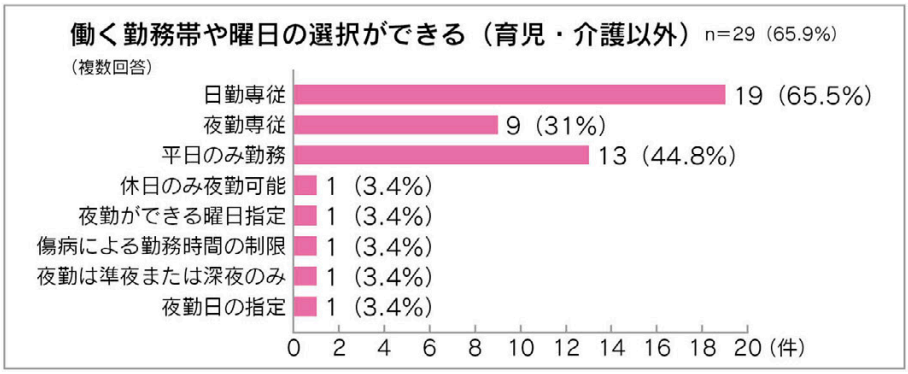
回答率 62.8%

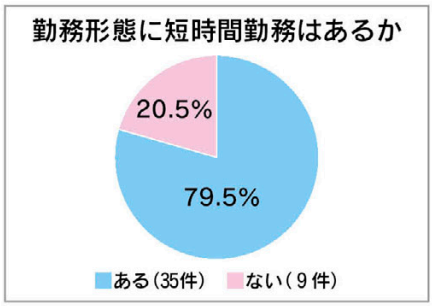
病床数・職員数 (n=44)

【病床数】
200床以下：28施設（63.6%）
200～299床・300床以上：各8施設（18.2%）
【職員数】
200人以下：32施設（72.7%）
201～450人：9施設（20.5%）
500人以上：3施設（6.8%）

1 多様で柔軟な働き方に関して

- フルタイム正規職員について：働く勤務帯や曜日の選択は、できるが6割以上、勤務場所や勤務内容の選択は、できないが約7割と回答しています。しかし「本人の希望に配慮」「定期的な面談や意向調査」などにより、要望に応じた働き方を模索している現状がみられました。
- 短時間正規職員について：正規職員の勤務形態に「短時間勤務あり」は35件（79.5%）、内容は「育児」が100%でした。
- 夜勤者確保の取り組みとして、二交代制勤務を導入している施設が9割と多く、夜勤回数に応じた手当の支給による夜勤者確保が行われている施設もありました。





2 看護補助者との業務分担・協働に関して

看護補助者への委譲業務内容は、「シーツ交換やベッドメイキング」「病室の環境整備」「物品の補充」等、患者に直接関わらない周辺業務が90%以上でした。業務分担・協働の推進については、「以前より推進されている」は31件（70.5%）でした。一方「推進されていない」は13件（29.5%）であり、その理由は、「看護補助者の人員不足」「看護補助者の業務範囲の理解不足」等でした。

3 今後の課題

【多様で柔軟な働き方に関すること】
公平性や夜勤勤務者の確保
お互い様風土の醸成、処遇改善（インセンティブ）
短時間や部分休業勤務者のキャリア形成

【看護補助者との業務分担・協働について】
看護補助者のキャリアラダーを活用した教育マニュアルの整備
カンファレンスへの参加

この結果を参考に、看護職が健康で安全に充実感を持って働ける、看護職自身のウェルビーイングを考えていただければと思います。

認定看護管理者教育課程が変わります

現行の認定看護管理者教育課程は、今後、「看護管理研修」および「新たな認定看護管理者教育課程」の教育体系に変更となります。詳細は先に開催した『富山県看護協会における今後の認定看護管理者教育オンライン説明会』の動画を、本会ホームページにアップしましたのでご覧ください。

こちらからどうぞ

富山県看護協会における認定看護管理者教育実施計画

	～2026年度	2027年度	2028年度～
現行の認定看護管理者教育課程	ファーストレベル　終了 セカンドレベル　終了		
看護管理研修(付加研修含む)		開始 →	→
新たな認定看護管理者教育課程			開始 →

新たな認定看護管理者教育課程を受講されるには、看護管理研修（16研修）をすべて受講する必要があります。これまでのファーストレベル修了者は、看護管理研修（付加研修：9研修）の受講が必要となり、セカンドレベル修了者は、新たな認定看護管理者教育課程を受講することができます。

また、看護管理研修（16研修）、および看護管理研修（付加研修：9研修）の各々を同一年度内に受講される場合は、パッケージ料金を設定する予定です。詳細が決まり次第、本会ホームページでお知らせします。

看護管理研修（付加研修含む）16のプログラム概要

	研修番号	付加研修	研修名	関連能力	時間数 普遍的知識（e－ラン）	時間数 実践者講義＋演習	時間数 合計
1	1		看護管理概論		4	2	6
2	2-1		組織マネジメント概論	組織管理・経営能力	3	3	6
3	2-2		看護組織におけるリーダーシップ		3	3	6
4	2-3	★	看護管理に必要な財務知識		3	3	6
5	2-4		ヘルシーワークプレイス		3	3	6
6	2-5		看護業務のマネジメント		3	3	6
7	3-1	★	データに基づく質管理	質管理・質向上能力	3	3	6
8	3-2	★	看護の質と看護提供体制の整備		3	3	6
9	4-1	★	生涯学習支援・キャリア形成支援の基礎	人材育成・キャリア開発促進能力	3	3	6
10	4-2		人材育成の方法		3	3	6
11	5-1	★	安全管理	危機管理能力	3	3	6
12	5-2	★	災害対策		3	3	6
13	5-3		情報管理		3	3	6
14	6	★	制度・政策と看護管理	政策立案・推進能力	6	3	9
15	7-1	★	組織変革	創造する能力	3	6	9
16	7-2	★	地域のニーズに合わせたサービスの創造		3	6	9
計					52	53	105

富山県訪問看護総合支援センターからのお知らせ

訪問看護インターンシップ

概 要

目　　的：訪問看護の魅力の発見や関心を高める
参加者数：県内看護師等学校･養成所の看護学生　12名
実施期間：令和８年８月10日～８月21日（うち１日参加）
場　　所：受入れ事業所７ケ所（朝日町･きずな･光風会･ジョジョ･福祉短期大学･済生会高岡･南砺市）

参加学生の意見･感想（抜粋）

- 訪問看護の役割が理解でき、より魅力・関心が高まった。
- 訪問看護師の体験談を聞き、自分自身の看護観について考えることができた。
- 利用者の状態観察や生活環境を確認する上で、コミュニケーションスキルが重要である。
- 将来、地域で働くうえで、多職種との連携が必要である。
- 病院で様々な疾患や看護技術を経験してから、訪問看護で働きたい。
- 「病院」から就職と考えていたが、今回の研修で、「最初から訪問看護」へ就職の考えに変わった。

受入れ事業所の意見･感想（抜粋）

- 訪問先での挨拶や言葉かけ等マナーができていた。
- 質問や疑問が多く、訪問看護のインターンシップに積極的に参加していた。
- 学校で座学を学び、今回実際の現場を体験し、これから始まる在宅看護実習に向け、在宅での雰囲気が理解でき実習に活かせると感じた。
- 訪問看護は「住み慣れた自宅や地域で暮らせるよう」支援している事を理解された。





「まずは病院」ではなく、最初の就業選択へ。
今回の研修が訪問看護のやりがいを実感し、新卒から訪問看護師を目指す大きなきっかけになりました。

参加された看護学生の皆様、受入れ訪問看護事業所の皆様ありがとうございました。

TOYAMAナースセンターニュース



看護のお仕事出張相談

富山県ナースセンターの就職アドバイザーがお仕事探し、進路、資格取得、仕事の悩み、復職にむけた研修などの相談をお受けしています。予約は不要ですので、お気軽にご利用ください。

場所	時間	10月	11月	12月	1月	2月
ハローワーク魚津	10:00～16:00	14日	11日	9日	13日	10日
ハローワーク滑川		15日	19日	17日	21日	18日
ハローワーク富山		8日、22日	12日、26日	10日、24日	14日、28日	4日、25日
ハローワーク高岡		20日	17日	15日	19日	16日
ハローワーク氷見		8日	12日	10日	14日	18日
ハローワーク砺波		21日	18日	16日	20日	17日
ハローワーク小矢部		14日	11日	9日	13日	10日

日程は、変更となる場合があります。最新の情報は、ホームページ「イベントカレンダー」からご確認ください。

求人情報

ホームページおよびeナースセンターで求人情報を紹介しています。

eナースセンター　求人情報

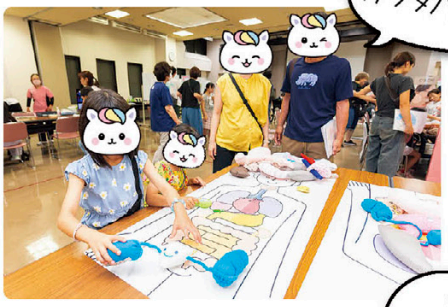
とやま看護フェスタ2026



2026年８月１日㈯、富山県看護協会にて「とやま看護フェスタ2026」を開催しました。当日は、未就学児から高校生まで幅広い年代の子どもたちとその保護者の皆さま、合計128名（49組）にご参加いただきました。

本イベントは、将来の進路選択や職業理解を深めてもらうことを目的として企画したもので、看護の魅力を体験的に知っていただける多彩なプログラムを実施しました。参加者は楽しみながら看護の仕事に触れていました。

「看護師さんの仕事がよく分かった」「進路を考えるきっかけになった」などの声が寄せられ、子どもたちが真剣に取り組む姿や、保護者の方が熱心に説明を聞く姿が印象的でした。





















事務局から



令和８年度理事会報告

■第４回　令和８年８月10日(月)

協議事項
①令和８年度新規会員の承認について
②令和９年度富山県への要望事項について
③富山県看護協会における今後の認定看護管理者教育について
④その他

報告事項
①令和８年度日本看護協会会議等報告
　第３回理事会・第２回法人会員会報告
②令和８年度富山県看護協会事業報告
　認定看護管理者教育課程 第２回教育運営委員会報告
　研修等実施報告
　ナースセンター事業実績報告
　訪問看護総合支援センター事業実績報告
　委員会報告
　支部報告
　後援・協力等依頼報告
　その他の会議等報告
③その他
　富山県看護協会が保管している災害支援ナース必要物品
④会員数報告　令和８年７月31日現在 8,737人

看護師職能委員会Ⅱの活動をぜひご覧ください！

看護師職能委員会Ⅱは、病院、訪問看護、介護保険施設、診療所などの地域で活躍する看護職の皆さまとともに、これからの看護を考え、学び合う活動を行っています。研修会や情報交換、看護職の専門性・管理能力の向上に向けた取り組みなど、私たちの活動をチラシにまとめました。どのような活動をしているのか、ぜひチラシをご覧ください！

私の推し活コーナー





皆様も既に御存知かと思いますが、マフは、筒状のニットに毛糸での飾りやふわふわの毛糸のボールなどつけたものです。

私にとってマフづくりは、黙々と編み物をすることで無心になれるもので、リフレッシュできます。

病院の仲間と協力を得て、作品を増やしています。認知症を抱える患者への手を温めながら心もほぐすアイテムとして、職場で利用していただいています。

応募方法

読者の皆様から
「表紙写真」と「私の推し活」を募集します。
応募方法
・富山県看護協会のEメールからご応募ください。
（郵送での受付はしておりません）
E-mail：info@toyama-kango.or.jp

「表紙写真」
富山県の四季折々の風景・行事・花などの写真をお待ちしています。
①氏名　②ニックネーム
③連絡先（電話番号、メールアドレス）
④写真についてのコメント（撮影場所など）

「私の推し活」
芸能人、アニメ、ペットなど何でもOKです。推しポイントを添えて、写真を送ってください。
①～③表紙写真と同様
④推しの写真、紹介コメントなど
※スマートフォン、携帯電話で撮影したものは不可。

応募締め切り　12月末日

表紙写真説明：
となみ夢の平コスモスウォッチングの写真です。秋を感じに行ってみては…。



編集後記

秋の深まりとともに、少しずつ過ごしやすい季節となりました。

今回は、看護におけるデジタル技術の活用と、これから看護の道を歩む看護学生の皆さんを特集しました。デジタル技術が進化する中でも、人に寄り添い、思いをくみ取る看護の温もりは変わりません。新しい技術と看護の本質を大切にしながら、これからの看護をともに創っていければと思います。

〈広報委員会〉

公益社団法人
富山県看護協会　〒930-0885 富山市鵜島字川原1907-1　TEL 076-433-5680　E-mail：info@toyama-kango.or.jp　発行責任者／岡本里美